

個別避難計画作成マニュアル

● 個別避難計画を作成する流れ

個別避難計画は、要支援者に聞き取りを行いながら作成します。個別避難計画を作成する流れを参考に準備を進めて、このマニュアルは④要支援者への聞き取り・計画の作成時に参照してください。

- ① 作成支援チームを決める
- ② 作成すべき対象者と優先順位を決める
- ③ 訪問してみる

④ 要支援者への聞き取り・計画の作成

- ☐ 作成支援チームの方、福祉専門職、ご本人、ご家族などで集まり(又は訪問)、要支援者ご本人(又は代理の方)に聞き取りを行います。支援者の候補が居れば一緒に同席してもらいましょう。
- ☐ 聞き取りには「個別避難計画作成マニュアル」を使い、様式に記入していきます。



地域作成様式(おもて) 豊明市 個別避難計画

住所	〒 市 区 町 丁目 番 号
氏名	姓 名 姓 名 姓 名
住所	住所 住所 住所
電話番号	電話番号 電話番号 電話番号
性別	性別 性別 性別
年齢	年齢 年齢 年齢
職業	職業 職業 職業
障害	障害 障害 障害
備考	備考 備考 備考

※ 記入の際は、必ず「個別避難計画作成マニュアル」を参照してください。



個別避難計画についてはガイドを確認してね

● マニュアルの使用方法

マニュアルは左ページに「記入例」、右ページに「聞き取り内容」が記載されています。マニュアルを参照し、適宜問いかけながら記入してください。

<記入例>

<聞き取り内容>

個別避難計画を作成するために、訪問する時の持ち物は4つ！

- ① 白紙の個別避難計画
- ② 個別避難計画作成マニュアル
- ③ 水害・土砂災害ハザードマップ(地図)
- ④ 避難行動要支援者の助け合いガイド



●個別避難計画の記入例



個別避難計画のポイントを説明するよ

豊明市では、避難行動要支援者名簿に登録されている方が個別避難計画作成の対象者として定義されています。

地域作成様式(おもて)

豊明市 個別避難計画

避難支援 判断基準	風水害時 地震時	高齢者等避難(警戒レベル3) 震度5強(避難所開設基準)
--------------	-------------	---------------------------------

記入例

〇〇区

■1. 本人(避難行動要支援者)に関すること

フリガナ	トヨアケ タロウ	生年月日	大正・昭和 平成・令和	〇年 〇月 〇日
氏名	豊明 太郎	自宅電話	00-0000	性別 男
		携帯電話	000-0000-0000	町内会 〇〇
住所	新田町子持松1-1			班名 〇班
同居家族	昼間	一人暮らし・夫・妻	父・母・子・孫・()	
	夜間	一人暮らし・夫・妻	父・母・子・孫・()	

■2. 支援が必要な理由(あてはまるものすべてに☑)

- ☐ 立つことや歩行ができない ☒ 音が聞こえない(聞こえにくい) ☐ 物が見えない(見えにくい)
- ☐ 言葉や文字の理解が難しい ☐ 危険なことを判断できない ☐ 顔を見ても家族等と分からない
- ☒ その他 (自力歩行はできるが、歩行器や杖が必要で迅速な移動は困難。耳がとおい。)

■3. 支援の方法、支援に必要なもの

- ・歩行時に杖が必要なため、荷物を持つか手を貸す必要がある。
- ・耳が遠いため、できるだけゆっくりと分かりやす言葉を使用する。
- ・妻と一緒に避難が必要

■4. 支援する人(団体) *避難支援等関係者※1に共有されます。同意のうえでご記入ください。

①	フリガナ	アイチ イチロウ	本人との関係 (班名など)	隣人	住所	新田町〇〇
	氏名 (団体名)	愛知 一郎			携帯電話	000-0000-0000
②	フリガナ	オワリ ジロウ	本人との関係 (班名など)	〇班班長	住所	新田町〇〇
	氏名 (団体名)	尾張 次郎			携帯電話	000-0000-0000
③	フリガナ		本人との関係 (班名など)		住所	
	氏名 (団体名)				携帯電話	

●聞き取り内容

聞き取り内容を確認し問いかけながら記入しよう！



■ 1. 本人（避難行動要支援者）に関すること

- ○○さん、生年月日は○○、班名は△班で合っていますか？
- 自宅電話、携帯電話があれば番号を教えてください。
- 同居家族について教えてください。
普段一緒に暮らしている人はいますか？
- 昼間と夜間で違いはありますか？

■ 2. 支援が必要な理由

- 日頃、立ったり歩いたりすることが問題なくできますか？
- 歩いて避難する場合に、不安はありますか？
(⇒ 条件があれば「その他」に記入)
- 日頃、音が聞こえない、又は聞こえにくいことはありますか？
- 日頃、物が見えない、又は見えにくいことはありますか？

※以下○の項目について、ケアマネやご家族など本人以外に確認！

- 危険なことを自分で判断できますか？
- 本人の認知に問題はありませんか？
- (顔を見ても家族と分からないなど)
- その他避難する時に気になることはありますか？



■ 3. 支援の方法、支援に必要なもの

- 歩くときにどのような介助や誘導が必要ですか？
- シルバーカーや歩行器、杖などは必要ですか？
- 移動の際に、特に支援をお願いしたいことはありますか？
(避難生活に必要な物を運ぶのを手伝って欲しいなど)
- 会話をするうえで、配慮して欲しいことはありますか？
(大きな声で話して欲しい、簡単な単語で話して欲しいなど)
- その他、移動の際不安に感じていることはありますか？

●個別避難計画の記入例



個別避難計画のポイントを説明するよ

■2. 支援が必要な理由(あてはまるものすべてに☑)

- ☐ 立つことや歩行ができない ☒ 音が聞こえない(聞こえにくい) ☐ 物が見えない(見えにくい)
☐ 言葉や文字の理解が難しい ☐ 危険なことを判断できない ☐ 顔を見ても家族等と分からない
☒ その他

■3. 支援の

- ・歩行時に杖
- ・耳が遠いた
- ・妻も一緒に避難が必要

支援者の候補が居ない場合、近所の方をお願いしてみる、自主防災会をお願いしてみるなどを検討してみましょう。

■4. 支援する人(団体) *避難支援等関係者※1に共有されます。同意のうえでご記入ください。

①	フリガナ	アイチ イチロウ	本人との関係 (班名など)	隣人	住所	新田町〇〇
	氏名 (団体名)	愛知 一郎			携帯電話	000-0000-0000
②	フリガナ	オワリ ジロウ	本人との関係 (班名など)	〇班班長	住所	新田町〇〇
	氏名 (団体名)	尾張 次郎			携帯電話	000-0000-0000
③	フリガナ		本人との関係 (班名など)		住所	
	氏名 (団体名)				携帯電話	

■5. 避難先について

風水害時	高齢者等避難(レベル3)が発令されたら、支援者の車で〇〇小学校(指定避難所)へ避難	移動手段	徒歩・車・車いす・()
地震時	自宅に居られない場合は、支援者の車で〇〇小学校(指定避難所)へ避難	移動手段	徒歩・車・車いす・()

■6. 避難先に持って行くもの

名称	杖	血圧の薬	紙おむつ		
保管場所	玄関	台所の引出し	寝室		

指定避難所だけでなく、個人個人の状況に合った避難先を検討することが大切です。

風水害時は在宅避難や親戚宅への避難なども考えられます。

●聞き取り内容

■ 4. 支援する人

※支援者が同席している場合は記入してもらう。



- ☐ 支援してくれる人はいますか？
- ☐ (いる場合) 支援者から、個別避難計画へ情報を書き込むことへの同意を得ていますか？ (⇒支援する人の欄に記入)
- ☐ 支援してくれそうな人はいますか？
(⇒いればお願いしてみる。いなければ自主防災会や近所の人などをお願いしてみる)

■ 5. 避難先

<風水害時>

- ☐ 浸水想定区域、土砂災害警戒区域に該当しますか？
(わからなければ一緒にハザードマップを確認)
- ☐ (該当の場合) 最大浸水深は何メートルですか？
(⇒裏面「■ 7. ハザードマップ区域」に記入)
- ☐ 該当の場合は避難が必要です。避難先は決めていますか？
- ☐ 避難しやすい場所はどこですか？
- ☐ 移動手段は決めていますか？

<地震時>

- ☐ 避難先は決めていますか？
- ☐ 避難しやすい場所はどこですか？
- ☐ 移動手段は決めていますか？

■ 6. 避難先に持って行くもの

- ☐ 避難所で数日間滞在することを想定した場合、生活に必要なものは何ですか？それらはどこに保管してありますか？

※以下の項目は、上の質問で不明な場合に問いかけよう。



- 身分証明書の保管場所はどこですか？
- 常備薬とお薬手帳の保管場所はどこですか？
- 補聴器や入れ歯など、日常生活に必要なものはありますか？
- 普段からおむつを使っていますか？
- ペットはいますか？緊急時に預けられる人はいますか？

●個別避難計画の記入例



個別避難計画のポイントを説明するよ

避難所では、備蓄食や毛布などがありますが、個人個人の生活に必要な物や薬などは用意されていません。

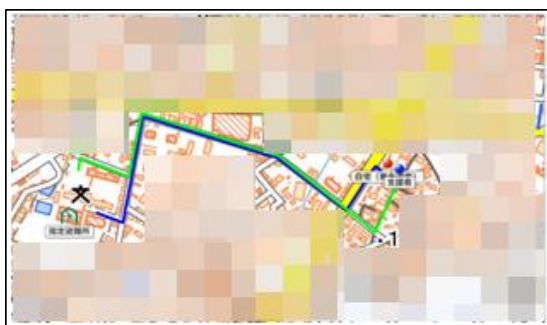
地域作成様式(うら)

■7. ハザードマップ区域(*豊明市水害・土砂災害ハザードマップR4.3版を基準とする)

浸水想定区域	☒ 該当 ☐ 該当なし	最大浸水深 (該当の場合)	1~2m	土砂災害警戒区域	☐ 該当 ☒ 該当なし
--------	---	------------------	------	----------	---

※想定区域のため、区域の境界付近の場合も注意が必要です。

■8. 避難経路などについて(避難経路図、危険箇所、ご近所マップ、間取り など)



緑:車での避難経路
青:徒歩での避難経路



日中の生活場所:1階玄関付近の応接室
夜間:1階の寝室で就寝

■9. 避難先での留意事項など(留意事項・訓練で気付いたこと など)

- ・トイレは洋式で手すりが必要
- ・本人は要介護2、妻は要介護1。妻の支援も気にかける必要がある。
- ・長女は静岡市に住んでいて、月に2回訪ねてくる。
- ・高血圧症の薬を服用しており、あっさりしたものしか食べられない。

■10. 緊急時の連絡先 *避難支援等関係者※1に共有されます。同

災害時にはブロック塀の倒壊などにより、通られない道ができる可能性があります。検討した経路にどのような危険があるか、実際に見て確認してみることも大切です

② 氏名 福祉 春子 本人との関係 ケアヘルパー 携帯電話 00-0000(代表)

●聞き取り内容

聞き取り内容を確認し問いかけながら記入しよう！



■ 7. ハザードマップ区域

＜風水害時＞

- ☐ 浸水想定区域、土砂災害警戒区域に該当しますか？
- ☐ 該当の場合、最大浸水深は何メートルですか？

■ 8. 避難経路などについて

- ☐ 検討した避難先までの避難経路が確認できていますか？
- ☐ 危険か所などは把握できていますか？
- ☐ 車で避難する場合、自宅周辺に駐車できるスペースはありますか？
- ☐ 狭い道などがありますか？
- ☐ 普段は家の中のどこに居ることが多いですか？
(⇒ 必要に応じて間取りなどを記載)

■ 9. 避難先での留意事項など

- ☐ 災害時ケアプランなどがありますか？
- ☐ 体調面などで注意することはありますか？
- ☐ その他、避難先で数日間過ごす場合に注意することはありますか？

●個別避難計画の記入例



個別避難計画のポイントを説明するよ

緑:車での避難経路
青:徒歩での避難経路

日中の生活場所:1階玄関付近の応接室
夜間:1階の寝室で就寝

■9. 避難先での留意事項など(留意事項・訓練で気付いたこと など)

- ・トイレは様式で手すりが必要
- ・本人は要介護2、妻は要介護1、妻の支援も気にかける必要がある
- ・長女は要介護1
- ・高血圧

支援者の候補が居ない場合、近所の方をお願いしてみる、自主防災会をお願いしてみるなどを検討してみましょう。

■10. 緊急時の連絡先 *避難支援等関係者^{※1}に共有されます。同意のうえでご記入ください。

①	フリガナ	トヨアケ ハナコ	本人との関係	長女	住所	静岡県〇〇
	氏名	豊明 花子			携帯電話	000-0000-0000
②	フリガナ	フクシ ハルコ	本人との関係	ケアハウス〇〇	住所	〇〇町〇〇
	氏名	福祉 春子			携帯電話	00-0000(代表)

■11. かかりつけ医の連絡先

医療機関名	〇〇内科	電話番号	0000-00-0000
医療機関名	〇〇整形外科	電話番号	0000-00-0000

(※1 避難支援等関係者) 市職員、民生委員・児童委員、区長、自主防災組織、町内会、社会福祉協議会、地域包括支援センター、警察、消防、その他市長が必要と認める者

【注意事項】

- 避難支援は、あくまでも普段からの地域の支え合いによって少しでも災害時の被害を減らそうとするものです。
- 避難支援者の方(支援する人)をお願いするのは、あくまでもご自身の安全が確保できる範囲での支援です。決して支援者が責任を問われたり、義務を負うものではありません。
- この個別避難計画に関する情報は、災害時の避難支援活動、安否確認、日頃の見守りなどの支援活動以外の用途に使用することはできません。

記載内容に誤りがないことを確認し、上記注意事項について理解したうえで、計画書に記載された情報を平常時から避難支援等関係者^{※1}間で共有することに同意します。

〇年 〇月 〇日

本人氏名 豊明 太郎

代理人氏名 _____ 本人との関係()

●聞き取り内容

聞き取り内容を確認し問いかけながら記入しよう！



■ 10 . 緊急時の連絡先

- ご家族で、避難していることや安否情報などを知らせたい相手はいますか？
- 利用施設などで、避難していることや安否情報などを知らせたい相手はいますか？
- 個別避難計画に情報を書き込むことへの同意を得ていますか？

■ 11 . かかりつけ医の連絡先

- 通院を必要とする疾患や病歴はありますか？
- （ある場合）どこの医療機関にかかっていますか？
- 持病や薬など、避難先で確認が必要な場合、どこの医療機関に確認したら良いですか？

★同意事項★

※以下の事項に同意いただいたうえ、
本人又は代理人に署名してもらいます。



- 避難支援は、あくまでも普段からの地域の支え合いによって少しでも災害時の被害を減らそうとするものです。
- 避難支援者の方（支援する人）にお願いするのは、あくまでもご自身の安全が確保できる範囲での支援です。決して支援者が責任を問われたり、義務を負うものではありません。
- 計画書に記載された情報は、平時から避難支援等関係者間で共有されます。

●災害時の避難支援に関わる主な関係者

支援を受ける方

【避難行動要支援者(要支援者)】

豊明市では以下①～⑤に該当する方(施設入所や長期入院中の方を除く)を対象としています。

- ①介護保険法に基づく要介護状態3以上の方
- ②身体障害者手帳1級又は2級をお持ちの方
- ③療育手帳A判定をお持ちの方
- ④精神障害者保健福祉手帳1級をお持ちの方
- ⑤その他上記に準ずる方で、避難行動に支障があると市長が認める方



支援する方

【避難支援等関係者(関係者)】

要支援者の避難を支援する方。豊明市では以下の方を指します。

- 豊明市職員
- 民生委員・児童委員
- 行政区長・自主防災組織・町内会
- 社会福祉協議会、地域包括支援センター
- 警察・消防
- その他市長が必要と認める者



●個別避難計画を作成する流れ（作成後）

5 計画の完成・市への提出

- ☐ 支援者の調整など、聞き取りで計画が完成しない場合は、必要に応じて調整を行い、計画を完成させます。

6 訓練の実施・計画の見直し

■避難訓練の実施

- ☐ 避難訓練を実施し、個別避難計画の実効性を検証します。



■計画の見直し

- ☐ 訓練後、振り返りを行い課題等を踏まえ、計画を修正しましょう。
※修正した場合も計画を市へ提出してください。



【令和7年2月作成】**豊明市防災防犯対策課**

〒470-1195 豊明市新田町子持松1-1 TEL:0562-92-8305